

第3 水質関係異常事故

環境対策課において令和4年度に把握した区内の魚へい死・油流出の水質関係異常事故発生件数は、表1のとおりであった。また、最近の事故一覧を表2に示した。

表1 令和4年度水質関係異常事故一覧

年月日	種別	水域	地点	状況	調査結果等
R4. 4. 20	魚へい死	呑川	山野橋 [西蒲田四丁目]	5 cm未満のボラ稚魚が約 1000 匹へい死。	簡易水質検査を実施。有害物質等(遊離シアン、六価クロム(以下同じ)) 検出せず。二日前の降雨による越流及び水質変化の影響と推定した。
R4. 6. 8 ～ R4. 6. 10	魚へい死	呑川	夫婦橋～宝来橋 [蒲田一丁目～北糀谷二丁目]	20～60cmの魚(クロダイ、コイ、スズキ、ボラ)が3日間で約60匹へい死。	簡易水質検査を実施。有害物質等検出せず。海からの赤潮の影響と推定した。
R4. 7. 27 ～ R4. 8. 3	魚へい死	呑川	若宮橋～北糀谷橋 [西蒲田一丁目～北糀谷二丁目]	27日に5 cm未満の稚魚が約1600匹、5～10 cmの稚魚が約400匹へい死、28日に5 cm未満の稚魚が約3000匹、5～10 cmの稚魚が約100匹へい死。	簡易水質検査を実施。有害物質等検出せず。前日の降雨による越流及び水質変化の影響と推定した。
R4. 8. 19	魚へい死	呑川	夫婦橋～末広橋 [東蒲田二丁目～大森南二丁目]	10cm未満の稚魚が約400匹へい死。	簡易水質検査を実施。有害物質等検出せず。前日の降雨による越流及び水質変化の影響と推定した。
R4. 8. 22	変色	内川	新田橋～富士見橋 [大森西一丁目～大森西二丁目]	現地では油流出は確認できなかった。また、生物等の被害は確認されなかった。	簡易水質検査を実施。有害物質等検出せず。表層浮遊物を採取し検査したが、油臭、油膜もなく硫化水素臭が確認された。形状から鉄バクテリアと考えられる。
R4. 10. 19	魚へい死	呑川	日蓮橋～宮之橋 [西蒲田一丁目～蒲田一丁目]	10cm程度の稚魚(ウグイ属)が約200匹へい死。	簡易水質検査を実施。有害物質等検出せず。6日ほど前の降雨による越流の影響と推定した。
R5. 1. 24	油流出	多摩川	多摩川スカイブリッジ下流 [羽田空港二丁目]	油流出(生物等の被害は確認されず)	水質測定実施せず。原因不明。
R5. 1. 27	油流出	海老取川	穴守橋 [羽田五丁目]	油流出(生物等の被害は確認されず)	水質測定実施せず。原因不明。
R5. 3. 7 ～ R5. 3. 14	濁流流入	丸子川	宝来橋 [田園調布四丁目]	セメントの流出	pH測定のみ実施。セメントまじりの汚泥でpH10～11だった。セメント撤去後はpH6.6だった。

表2 最近の水質関係異常事故件数

			多摩川		丸子川		海老取川		呑川		内川		池等		運河内湾等	
平成 30 年度	総数	魚へい死		0		0		0		4		0		0		0
		油流出	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
		その他		0		0		0		0		0		0		0
令和 元 年度	総数	魚へい死		0		0		0		3		0		1		0
		油流出	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	0	0	0
		その他		0		0		0		0		0		0		0
令和 2 年度	総数	魚へい死		0		0		0		2		0		0		0
		油流出	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		その他		0		0		0		0		0		0		0
令和 3 年度	総数	魚へい死		0		0		0		3		1		0		0
		油流出	1	1*	3	1*	0	0	5	2	1	0	1	1	0	0
		その他		0		2		0		0		0		0		0
令和 4 年度	総数	魚へい死		0		0		0		5		0		0		0
		油流出	1	1	1	0	1	1	5	0	1	0	0	0	0	0
		その他		0		1		0		0		1		0		0

※ 多摩川の1件と丸子川の1件は同一案件